

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成 30 年 1 月 29 日

計画の名称	豊かな自然と共生する生活基盤の整備を図る下水道事業の推進							重点配分対象の該当				
計画の期間	平成28年度～平成29年度（2年間）			交付対象	西条市							
計画の目標	西条市の目指す将来都市像を『人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市』とし、そのさらなる発展のためのまちづくりのスローガンとして、～創ろう 最上のまち 西条を！～を掲げ、豊かな自然と共生するまちづくりを目指して、水環境の整備保全及び安全で快適な生活環境を提供でき、四国八十八箇所霊場や四国別格二十霊場を巡礼する方に快適なトイレ環境を提供することができる下水道事業に取り組んでいます。 そこで本計画においては以下の点を計画目標に掲げ、社会資本整備事業を推進してまいります。 ①生活環境の改善・普及率の向上											
計画の成果目標（定量的指標）	・下水道処理人口普及率を58.1%から63.8%に向上											
定量的指標の定義及び算定式	下水道処理人口普及率の向上=計画最終目標年における処理区域内人口/最終目標年の行政人口 (総人口のうち、下水道施設が利用できる人口の割合)							備考				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,086百万円	A	1,086百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
A-1-1	下水道	一般	西条市	直接	西条市	管渠(汚水)	新設	未普及解消下水道事業（西条処理区、東予・丹原処理区）	管渠整備 L=7.5km	西条市						727	-	-	
A-1-2	下水道	一般	西条市	直接	西条市	処理場	新設	資源循環形成下水道事業（東予・丹原浄化センター）	汚泥処理施設	西条市						267	-	-	
A-1-3	下水道	一般	西条市	直接	西条市	管渠(汚水)	新設	調査設計	管渠設計等	西条市						92	-	-	
合計											1,086								
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32					
合計																			
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考			
										H28	H29	H30	H31	H32					
合計																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
									H28	H29	H30	H31	H32						
合計																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	297	279			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	297	279			
前年度からの繰越額 (d)	43	51			
支払済額 (e)	289	321			
翌年度繰越額 (f)	51	9			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-			

※ 決算額が確定でき次第記載。

## 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 豊かな自然と共生する生活基盤の整備を図る下水道事業の推進【H28-29】

都道府県名： 愛媛県西条市

評価項目	チェック欄	備考
<b>I. 目標の妥当性</b>		
<b>①上位計画等との整合性</b>		
1) 上位計画等との整合性	○	下水道事業計画区域は、燧灘流域別下水道整備総合計画や第三次愛媛県全域下水道化基本構想などに位置付けられており、本整備計画と整合がとれている。
2) 下水道法に定める認可との整合性	○	上記同様、下水道法に定める事業計画区域内での整備を行う計画となっており、整合がとれている。
<b>②地域の課題への対応</b>		
1) 地域の課題を踏まえて目標を設定	○	未普及解消といった課題を踏まえた目標となっている。
<b>II. 整備計画の効果・効率性</b>		
<b>③目標と事業内容の整合性等</b>		
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○	整備計画の目標と指標が合致している。 (H32末 目標値:普及率63.8%)
2) 定量的指標の明瞭性	○	整備による効果を直接的に表すことができる指標となっている。
<b>④事業の効果</b>		
1) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○	下水道整備の促進により、生活環境の改善や水質保全といった快適な水環境の創造が図れる。
<b>III. 計画の実現可能性</b>		
<b>⑤事業執行の能力</b>		
1) 財政・執行能力等からみても計画期間で適正な区域となっている。	○	事業計画策定時に財政執行能力等を考慮した計画となっている。
2) 下水道供用前後における接続促進に取り組んでいる。	○	地元説明会や戸別訪問などで啓発に努めている。
<b>⑥円滑な事業執行の環境</b>		
1) 下水道事業計画の公表	○	事業計画策定時に告示・縦覧を行っている。 事業計画区域の拡大により、計画平面図をHPで公表している。
2) 地元の意見聴取(意見聴取の場が設けられているか)	○	上記策定時に意見聴取を行っている。また、都計認可時と同様である。 「下水道の日」にあわせて、『下水道相談所』を設置している。